

第 64 回（2025 年度）研究発表会 若手優秀発表賞 受賞者

第 64 回研究発表会および現地見学会実行委員会

事業計画部

奈良大会において研究発表を行った若手発表者(申込時の年齢が満 35 歳以下)の中から、以下の方々を優秀発表者として表彰することといたしました。受賞者には、実行委員会より賞状と副賞を贈呈いたします。また受賞者による該当テーマに関する**学会誌論文投稿優遇措置(※)**を設けておりますので、研究成果の投稿をぜひお願いいたします。

■若手優秀発表賞 受賞者

【口頭発表部門（発表番号順）】

- ・ 1-21 賀 江坤 (Kyoto University)

「On the complex landsliding phenomena on Ichinose area triggered by the 2024 Noto Peninsula Earthquake」

- ・ 1-31 相場 菜摘 (国土防災技術株式会社)

「静岡県諸子沢地すべりにおける倒木に着目した地表面移動の傾向」

- ・ 2-10 沼澤 輝久 (株式会社日さく)

「新潟県糸魚川市広田地すべりの集水井施工に伴う地下水変動」

- ・ 2-30 伊藤 啓太 (奥山ボーリング株式会社)

「秋田県上槇沢地区における大規模岩盤地すべりの地質的背景」

- ・ 2-31 武田 龍征 (山口大学大学院)

「すべり面の残留強度に及ぼす礫の再配向の影響」

- ・ 3-4 中野 大輝 (群馬大学)

「バランス断面法を模擬した有限要素解析と時間効果の疑似モデル化」

- ・ 3-8 尾崎 雅仁 (群馬大学)

「観測変位から 3 次元的なすべり面位置を推定するための解析的試み」

- ・ 3-12 関 悠花里（東電設計（株））
「長野県岡谷市を対象地点とした 0 次谷抽出および土砂流動シミュレーション」
- ・ 3-28 大石 怜生（京都大学大学院）
「常時微動観測と地形解析に基づく地震時の盛土変動に関する検討」
- ・ 4-3 池田 弘毅（新潟大学農学部）
「マルチクラス分類に基づく深層学習手法による集水井ライナープレート の自動腐食部検出」
- ・ 4-14 羅 雨軒（Kyoto University）
「Shear and size-segregation behavior of bi-disperse granular materials in ring shear tests」
- ・ 4-19 陳 子威（Gunma University）
「Importance of hydraulic hysteresis on slope stability analysis under rainfalls」
- ・ 4-27 松下 紗弥歌（東京都市大学）
「アイトラッキングによる地すべり地形判読プロセスの抽出と記録」
- 【ポスター発表部門（発表番号順）】
- ・ P-7 兼子 卓（鳥取大学大学院）
「セルおよび集水域単位による斜面崩壊ハザードマッピング：能登半島の例」
- ・ P-30 吉澤 剛禎（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構）
「非破壊試験による地すべり抑止杭の健全性評価モデル試験」
- ・ P-43 山口 朱莉（東京都市大学）
「ベトナム中部クアンナム省における表層崩壊の運動形態と地形および地質との関係」

■審査方法

【口頭発表部門】

候補者 44 名に対して、事前審査と当日審査を行った。事前審査は、候補者 1 名あたり 3 名以上の審査員により、講演要旨に対して 3 つの項目（研究内容、研究レベル、原稿の完成度）について 5 段階評価で採点した。当日審査は、座長により、発表内容や質疑応答での対応についての評価を行った。事前・当日審査の総評をもとに、実行委員・事業計画部が表彰

者を決定した。結果的に、合計得点上位の13名を表彰者とした。

【ポスター発表部門】

候補者14名に対して、事前審査と当日審査を行った。事前審査は、候補者1名あたり3名以上の審査員により、講演要旨に対して3つの項目（研究内容、研究レベル、原稿の完成度）について5段階評価で採点した。当日審査は、候補者1名あたり3名の審査員により、研究内容、ポスターの出来栄え、発表態度などについて評価を行った。事前・当日審査の総評をもとに、実行委員・事業計画部が表彰者を決定した。結果的に、合計得点上位の3名を表彰者とした。

なお、本表彰は、ポスター部門、口頭部門それぞれ複数回の表彰を行わないこととしている。

■審査員（順不同・敬称略）

・第64回研究発表会および現地見学会実行委員会・幹事会

王功輝、海堀正博、藤井俊逸、木村耕治、片山弘憲、片山直樹、西山賢一、土井一生、山崎新太郎、松澤真、網野功輔、斉藤龍太、一木利哉、太田英将、伊藤佳祐、福田睦寿、酒井信介、横山修、中井真司、小松晃二、渡邊聡、岩瀬信行、美馬健二

・事業計画部

佐藤剛、土志田正二、茂木俊、井上宏、井田晃司、稲葉一成、岩佐卓実、大村泰、神山嬢子、楠本岳志、小林豊、相楽渉、高島誠、沼宮内信、村上亘

・口頭発表座長

中島祐一、鈴木真悟、佐藤丈晴、木村匠、武田大典、長谷川陽一、土佐信一、鈴木拓郎、興水健一、経隆悠、日下田亮、林宏一、千葉伸一、古谷元、太田英将、新井場公德、蔡飛、後藤聡、若井明彦、佐藤浩、笠井美青、岩橋純子、宮城昭博、高澤忠司

※学会誌論文投稿優遇措置

受賞者が筆頭筆者として、受賞した発表に関連する内容の原稿（原稿区分は問わない）を日本地すべり学会誌に投稿する場合、その費用が免除される（ただし、カラーページ費用、超過ページ費用、別刷費用は免除対象に含まない）。優遇措置を受けられる期間は受賞から3年間である。受賞者にはこれを機に研究成果の投稿をお願いしたい。